

所属・資格 教育学科 准教授

申請者氏名 大場 博幸

研究課題		図書館所蔵の書籍市場への影響：所蔵数と新刊書籍の実売部数または古書価格との関係
報告の概要	研究目的 および 研究概要	図書館所蔵が民間書籍市場をクラウドディングアウトしているのか否かを検証した。タイトル毎に一定期間の実売部数およびインターネット古書価格を調べ、それらと所蔵数の間に一定の傾向があるかどうかを検討した。サンプルを2015年の文芸書ベストセラー300点とし、その時点から二年以上を経た2018年4月時点での古書価格と新刊売上部数を応答変数に、所蔵数ほかを説明変数として重回帰分析を施した。部数データをオリコン社から、所蔵数データをカーリル社から購入した。
	研究の結果	分析の結果、古書価格に対して、所蔵数および貸出数の影響を観察することはできなかった。また、短期的な貸出数については、新刊の売上部数への影響も観察されなかった。一方、所蔵数については、新刊の売上部数への市場へのマイナスの影響が認められた。売上のピークを迎えた年から2年以上経た時点で、全国の公共図書館の所蔵100冊につき2%強程度の新刊売上部数の低下となった。しかしながら、先行研究によって示された影響の程度とは数値に開きがあった。
	研究の考察・反省	今回の研究は、ある一時点での図書館所蔵数の影響を検討したものである。累積的な貸出数の影響や、発行後から数年を経過するまでに蓄積される図書館所蔵の影響の程度については今後の検討課題であり、パネルデータの取得が求められる。また、文芸書以外のジャンルや、二次流通市場なども検討すべき課題として残った。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。 日本図書館情報学会 秋季研究大会 「選択アーキテクチャとしての公共図書館」 2018.11.4 琉球大学	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	「図書館所蔵と貸出の書籍市場への影響：2015年の文芸書ベストセラーをサンプルとして」 『教育学雑誌』第55号 2019.3.25 日本大学教育学会	